

機器仕様

検出部	■検出器種類	デジタル出力型サーボ加速度計 標準,±2000Gal,±3000Gal
	■A/D変換機能	分解能24bit
	■サンプリング周波数	1kHz入力 50Hz,100Hz,200Hz,500Hz(6ch),1kHz(3ch) 出力
	■サンプリングスキュー	各チャンネル間10μs以内
	■ローパスフィルタ	デジタル6次バターワース近似フィルタ (fc=10~300Hzの整数値)
		直線位相、最小位相FIRデジタルフィルタ fc=15,30,60,150
	■校正機能	内蔵(遠隔操作でセンサの異常がわかります)
	■収録部との通信	ARCNETデジタルネットワーク (メタルケーブルMax.300m)
光複合ケーブル(E0装置要)もオプションで可		
■寸法・重量	240(W)×120(D)×100(H)mm 約3kg	
収録部	■時刻精度	GPSに同期
	■同期コントロール	全てのセンサを同期コントロール
	■検出器インタフェース	1~6検出器(Max.18成分) [マスタースレイブにてAccuSEIS Omni Recorder 10台以上接続可能]
	■記録媒体	Flash Card 標準1GB
	■記録モード	1) レベル周期のトリガカウントによるイベントトリガ
		2) 一定時間、又は指定時刻ごとに記録するプログラムタイマ
		3) ネットワーク経由による外部トリガ
		4) 連続記録
	■リアルタイムデータ	リアルタイムにパケット送信、データ保存可能
	■データの種類,形式	WINフォーマットに準拠
	■ネットワークによる 各種サービス	Telnetによりデータ閲覧 FTPによるデータ回収
		webサービスによりデータ閲覧 *1
		インターネットメールへの通報機能 (インターネット環境による)*1
		iモード等への通報機能(インターネット環境による)*1
	■LANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX × 1ポート 10BASE-T × 1ポート *2
	■シリアルインタフェース	RS-232C(1200bps~115.2kbps)×3ポート *2
	■電源 停電保証時間	AC100V(50/60Hz)±10%
9ch 3時間記録可能, 18ch 90分記録可能。		
バッテリー追加オプションで、数日間の記録可能		
■寸法・重量(据置型)	本体部 320(W)×230(D)×88(H)mm	
	電源部 320(W)×230(D)×99(H)mm 合計約9kg	
■外付ADC装置	フィードバック型検出器に対応	

●上記仕様は、20012年12月現在のものです。●本仕様は、お断りなく変更をすることがありますのでご了承ください。*1 予定 *2 データ転送はオプション

ネットワーク時代の地震計

AccuSEIS *Omni*



株式会社 勝島製作所

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥4-16-18 TEL 03(3603)7111

FAX 03(3603)7180

http://www.katsujima.co.jp

E-mail:sales@katsujima.co.jp

●取扱代理店

Katsujima

AccuSEIS Omni ネットワーク対応の次世代型データロガー。

● ネットワーク時代の地震計

直接ネットワークとの接続が可能。
 大容量のデータも高速通信でのバックアップが可能。
 高速通信により、常時波形モニタ等
 従来できなかったサービスを可能。
 IPサービスを有し、インターネットプロトコルにより
 インターネットとの接続、データの閲覧を可能にしました。
 ネットワーク上に存在する複数の地震計を、一括トリガ管理。

● 多機能A/D, 多様な計測器との結合

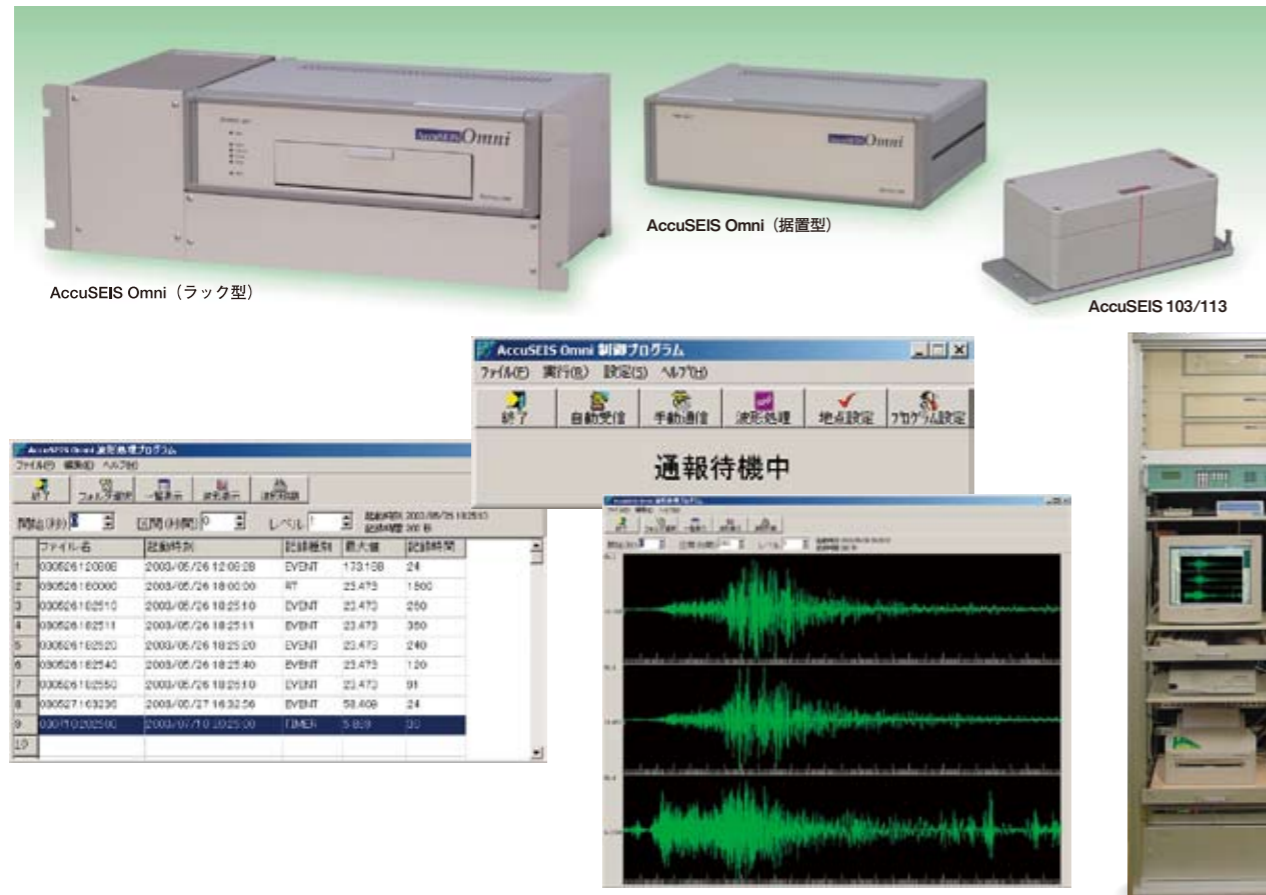
サンプリング周波数を最大で1kHz実現
 接続する計測器に合わせサンプリングを
 3ch単位で自由に指定、ファイリングができます。
 ローパスフィルタは直線位相、最小位相を実現。

● 長時間連続記録

長時間連続記録が可能に
 (例:1GB → 6成分, サンプリング100Hzで 約連続7日間)
 連続記録中でも起動管理の自由度と高速通信により、
 同時バックアップが可能
 自動起動しなかった記録でも、
 後トリガによる収録可能なため、欠測なし。
 トリガ記録で制約を受けていたプリトリガ、
 ポストトリガの制約が事実上無限大に。

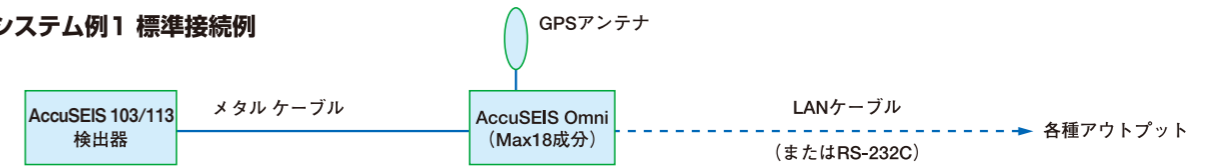
● 進化したGPS時刻管理

A/Dサンプリングも同時にGPSとロック、
 全てのチャンネルの同期を正確に行います。

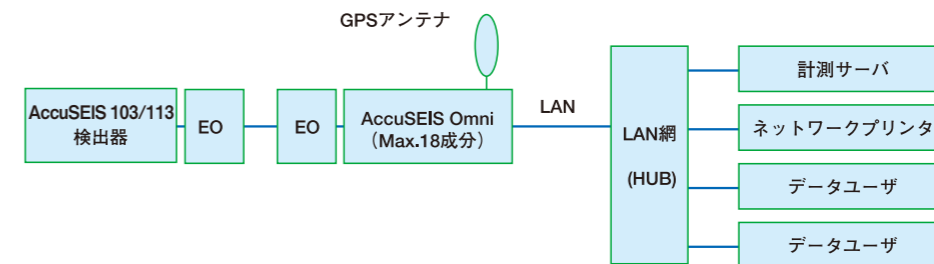


AccuSEIS Omni システム構成例

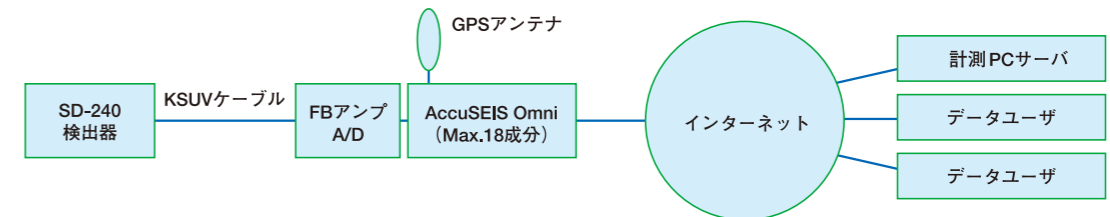
システム例1 標準接続例



システム例2 光複合ケーブル接続、LAN接続例



システム例3 FB検出器、インターネット接続例



システム例4 複数ロガー、他の計測器接続例

